慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	献呈の辞
Sub Title	
Author	高田, 晴仁(Takada, Haruhito)
Publisher	慶應義塾大学大学院法務研究科
Publication year	2024
Jtitle	慶應法学 (Keio law journal). No.52 (2024. 3) ,p.i- ii
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	竹中俊子教授・平野裕之教授・宮武雅子教授退職記念号
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AA1203413X-20240330--004

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

献呈の辞

今ここに、竹中俊子教授、平野裕之教授、宮武雅子教授の慶應義塾御退職を記念して、学恩を受けた研究者の研究成果を蒐めた論文集を贈る。

竹中俊子教授は、2000年にワシントン大学ロースクール（University of Washington School of Law）の准教授、2003年に教授に就かれ、知的財産法の御専門家として日米双方で御活躍であったところ、2017年、塾法務研究科・グローバル法務専攻の開設に際して、クロスアポイント制度にもとづき、ワシントン大学教授と塾法務研究科教授を併任された。本年3月をもって慶應義塾の定年を迎えられ、4月からは、ワシントン大学教授および立教大学客員教授として、知的財産法の教育の充実と発展に力を尽くされるご予定である。

平野裕之教授は、明治大学法学部教授を経て、2004年4月の塾法務研究科の開設に際し、教授としてファカルティに加わられた。爾後19年にわたり、その指導により幾多の優秀な法曹を輩出され、かつ、知らぬ人とてない質量ともに豊富な業績を挙げられた。2023年3月、選択定年により義塾を去られ、同年4月、塾名誉教授および日本大学大学院法務研究科教授として、民法の教育と研究とに尽力しておられる。

宮武雅子教授は、国際的法務の理論と実際に通暁した実務家の御経験をふまえ、2019年に塾法務研究科・グローバル法務専攻の客員教授として、次いで2021年に教授として、Negotiation, Mediationなど数多くの特色豊かな講義の企画・運営を担って来られた。本年3月、定年により慶應義塾大学大学院法務研究科を御退職される。

御三方は、極めて優れた学問的知見と尽きることなき法学教育への情熱、包容力溢れる御人徳とによって、今日の塾法務研究科の発展の基盤を担われてき

た。何よりも、これだけすぐれた論文集が編まれたことこそが、御三方への同僚・後進の敬愛の念の広さと深さとを物語るものといえよう。

今後も先生方が御自愛され、ますます御活躍されることを心よりお祈り申し上げる。

2024（令和 6）年 3 月

法務研究科委員長　高 田　晴 仁